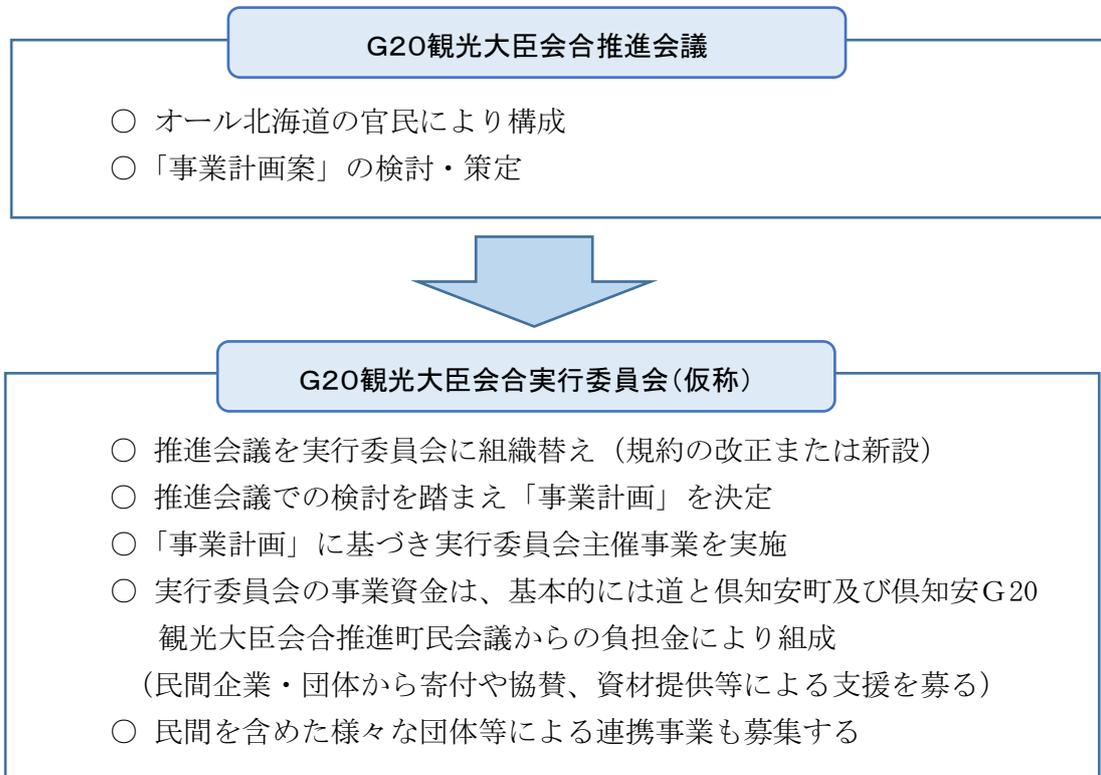


推進体制の移行と今後の進め方（イメージ）

1 推進体制の移行



2 今後のスケジュール

- 9月下旬～10月上旬 第2回推進会議幹事会
- 10月中旬～下旬 第2回推進会議 総会（実行委員会に組織替え）

〔参 考〕 これまでの国際会議について

名 称（開催地）	開催年月	推進体制	事業費・費用負担
北海道洞爺湖サミット （洞爺湖町）	2008. 7	道民会議	3億8,500万円 ※道：1億円、寄付：2億8,500万円
太平洋・島サミット （占冠村）	2009. 5	実行委員会	800万円（サミット残余金を充当） ※この他、道：1,700万円、村：430万円の関連事業を実施
APEC貿易大臣会合 （札幌市）	2010. 6	実行委員会	7,500万円 ※道、市、民間が各2,500万円 （民間分は、サミット残余金を充当）

G20 観光大臣会合推進事業（案）

基本的な考え方

- ◆ G20観光大臣会合の成功に向け、官民一体となった受入体制を確立し、支援・協力を行うとともに、北海道の魅力を国内外に広くアピールするための事業を実施する。
- ◆ 実行委員会が主催する事業のほか、大臣会合の開催とあわせて企業や団体が実施する様々な事業（連携事業）もG20観光大臣会合推進事業に位置づけオール北海道で取り組む。

実行委員会主催事業

道・倶知安町及び町民会議の負担金で事業を実施

開催支援

気運醸成

おもてなし

地域PR

連携事業

民間を含めた様々な連携事業を募集する

民間企業・関係団体の独自事業

倶知安町・町民会議の独自事業

北海道の独自事業

寄付・協賛をもとにした連携事業

（事業主体は実行委員会又は各種団体）

G 2 0 観光大臣会合実行委員会の事業計画について（イメージ）

1 基本的な考え方について

北海道倶知安町で開催されるG 2 0 観光大臣会合の成功に向け、官民一体となったオール北海道としての受入体制を確立し、支援・協力を行うとともに、大臣会合の機会を捉えて北海道の魅力を国内外に広くアピールする。



会合の様子（APEC貿易担当大臣会合）

2 事業のあらまし

(1) 開催支援

会合開催に係る受入体制の整備を行うとともに、会合の円滑な開催を支援する。

- 受入体制の整備
 - 空港・駅等での参加者への情報提供（通訳ボランティアの配置）、各国政府関係者の事前視察の支援 など
- 会合支援
 - 空港歓迎行事・政府主催レセプションの支援、海外向けHP作成 など



札幌駅でのインフォメーションセンター設置と通訳ボランティアガイド（APEC貿易担当大臣会合）



空港歓迎行事（太平洋島サミット）



政府主催歓迎レセプションでのYOSAKOIソーラン披露（太平洋島サミット）

(2) 気運醸成（広報・啓発活動）

会合の開催を幅広く道民に周知をして、開催気運の盛り上げを図る。

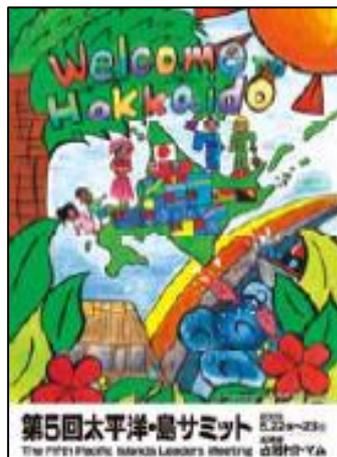
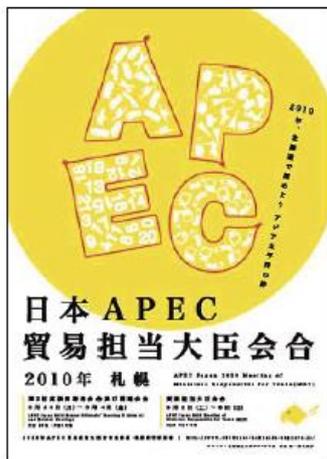
○ 事前広報

ポスターの公募・作成、パンフレット・リーフレットの作成 など

○ 気運醸成イベント

カウントダウンモニュメントの設置、講演会・シンポジウム等の開催

学生（高校生）サミットの開催、周辺市町村の環境美化活動の実施 など



ポスター掲示（左：APEC貿易担当大臣会合 右：太平洋島サミット） 懸垂幕（APEC貿易担当大臣会合）



カウントダウンモニュメントの設置
（APEC貿易担当大臣会合）



さっぽろ雪祭りでの100日前イベント
（太平洋島サミット）



会合開催の周知と理解促進に向けて「2010 APEC さっぽろセミナー」を開催（APEC貿易担当大臣会合）



町民の受入れ気運の醸成を図る「太平洋・島サミットフォーラム in 占冠」（太平洋島サミット）

(3) おもてなし

会合で来道する各国の大臣等をオール北海道で歓迎する。

○ 地元での歓迎行事

地域主催歓迎レセプションの開催、リフレッシュイベントの開催
各国VIP向け記念品贈呈 など



地元主催昼食会（太平洋島サミット）



道産食材を活用した料理を提供



地元主催歓迎レセプション（APEC貿易担当大臣会合）



会合会場でのリフレッシュイベント
（APEC貿易担当大臣会合）



配偶者プログラムでのアイヌ文化体験
（北海道洞爺湖サミット）



各国首脳と地域との交流事業（太平洋島サミット）

(4) 地域PR

会合に参加する各国の政府関係者、観光関係団体や報道関係者等に「食」や「観光」など本道の様々な魅力を発信する。

- 会合参加者向けPR事業
 エクスクーションの実施、プレスツアーの実施、情報発信ブースの設置 など
- 会合の開催に合わせたPR事業
 食のPRイベントの実施、情報誌発行・英字新聞での特集 など



エクスクーション（APEC貿易担当大臣会合）



プレスツアー（北海道洞爺湖サミット）



政府関係者・報道機関に産業・観光・文化情報を発信する
 ウェルカムパッケージ（APEC貿易担当大臣会合）



情報発信ブースの設置（APEC貿易担当大臣会合）



道産食の発信イベント（APEC貿易担当大臣会合）



G20観光大臣会合推進事業（案）

資料2-4

1. 実行委員会主催事業

<支出の部>

区分	事業内容	予算額（千円）
（１）推進費		
開催支援	①各国政府関係者等の直前視察への支援 ②空港、政府主催レセプションでの歓迎行事の実施 ③通訳ボランティアの配置、研修の実施 ④空港や駅へのインフォメーション機能の整備 ⑤現地スタッフ着用品、車輛通行証の作成・配付 ⑥ホームページの開設・運営 ⑦開催報告書の作成	
気運醸成	①カウントダウンモニメントの設置 ②300日前イベントの開催 ③政府関係者による講演会の開催 ④学生サミットの開催 ⑤道内イベントでのP R（例：雪祭り、ライラック） ⑥周辺市町村の環境美化活動の実施 ⑦ポスターの公募、作成 ⑧パンフレット・リーフレットの作成 ⑨横断幕、のぼりの作成	
おもてなし	①歓迎レセプションの実施 ②歓迎レセプション（準備会合）の実施 ③地域との交流事業の実施 ④配偶者プログラムの実施 ⑤記念品の贈呈（各国V I P）	
地域P R	①エクスカージョン（視察ツアー）の実施 ②プレスツアーの実施 ③食のP Rイベントの実施 ④情報ブースの設置 ⑤地域の情報パンフレットの配布 ⑥情報誌の発行、英字新聞での特集	
（２）事務局運営費		
合計		

<収入の部>

項目	予算額（千円）
(1) 北海道負担金	
(2) 倶知安町及び倶知安G20観光大臣会合推進町民会議負担金	
(3)（民間からの寄附・協賛）	
合計	

2. 連携事業

上記事業のほか、次のような連携事業により道民の気運醸成や受入体制の整備を図る。

- (1) 民間企業や関係団体による自らの企画力やノウハウを生かした独自事業
- (2) 倶知安町、倶知安町G20観光大臣会合町民会議、北海道が実施する独自事業
- (3) 道民や民間企業等から広く寄付や協賛を募り、それを財源とした連携事業

